いちのみやの
社会福祉
No.48
2021
2月号
福祉のまちづくり
（6月・10月・2月発行）

一宮市社会福祉協議会

「誰でもできる!支え合いボランティア講座」の様子(詳しくは13ページ)

Topics トピックス

- 社会福祉大会の表彰(全国・愛知県)
- 赤い羽根作品コンクール
- 赤い羽根共同募金のつかいみち
- ボランティア紹介リレー
- 講座・イベント参加者募集
- 車椅子の利用について
- 支えあい通信

あなたもボランティア活動をしてみませんか?

本会ではボランティアセンターを運営しています。ボランティア活動をしたい方と、ボランティアを必要とする方とをつなぐ役割を担います。「ボランティアをやってみたいけど、どうしたらいいんだろう?」とお悩みの方は、本会へご相談ください。ボランティア活動に参加されるみなさん向けの各種サポートもあります。詳しくは、6~7ページをご覧ください。

一宮市社会福祉協議会
公式マスコットキャラクター
「いちぴょん」

おめでとうございます

令和2年度全国社会福祉大会

（敬称略・順不同）

◇新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和２年度全国社会福祉大会は中止となりましたが、一宮市からは次の方々が表彰されました。

◎全国社会福祉協議会会長表彰

・永年勤続　　大塚　敦子 / 五藤　由希子 / 山内　晴海

第68回愛知県社会福祉大会

（敬称略・順不同）

◇令和２年11月17日、ドルフィンアリーナ（愛知県体育館）にて第68回愛知県社会福祉大会が行われ、一宮市からは次の方々が表彰されました。

◎愛知県社会福祉協議会会長表彰

・民生委員・児童委員

豊島　弘子 / 河村　保久

・社会福祉施設・団体役職員

冨板　弘子 / 冨板　朋子 / 三輪　卓也 / 森　好史 / 島田　真由美 / 森本　シズエ / 石川　幸恵 / 木田　春雄 / 臼井　孝嘉

・その他、社会福祉事業の進展に寄与した者

民踊連盟　豊香会 / 千秋民謡民舞クラブ / 日本舞踊ききょうクラブ

◎愛知県共同募金会会長表彰

・奉仕功労者

木村　誓吾 / 小川　典子 / 岩野　昭子 / 角田　廣志 / 鵜飼　昭仁

第64回福祉善行児童・生徒表彰

令和3年1月29日(金)に尾西庁舎6階にて「第64回福祉善行児童・生徒表彰式」を開催しました。

コロナ禍にもかかわらず、福祉活動やボランティア活動に積極的に取り組み、明るい幸せな地域社会づくりに寄与した児童・生徒62名を対象に表彰しました。

表彰を受けられたみなさん、おめでとうございます。

なお、表彰された児童・生徒のお名前は、本会ウェブサイトに掲載しております。

138sk　検索

善意のご寄付ありがとうございました

令和2年8月1日～令和2年11月30日現在　**合計 428,130円**　（敬称略・順不同）

エス・ビー建材(株)　/　明治安田生命保険(相)　/　(株)文溪堂　/　森下勉　/　(一社)ヤマコ納骨堂協会　/　のんきやお客一同　/　世界平和統一家庭連合 一宮家庭教会　/　(一社)一宮市母子寡婦福祉会　/　他匿名4件

～長年の活動が評価されました～

第 50 回朗読録音奉仕者感謝状贈呈式　「一宮市朗読グループききょう」

令和2年11月18日(水)に本会大和事務所で贈呈式が行われ、公益財団法人鉄道弘済会・社会福祉法人日本盲人福祉委員会から以下のみなさまに感謝状が贈呈されましたので、ご紹介します。

「朗読録音」とは、書籍を朗読し、その音声を収録することです。収録された書籍は「録音図書」と呼ばれ、視覚に障害のある方の重要な情報源となります。録音図書の仕上がりを、より良いものに手直しすることを「校正」といいます。

伊藤さんは「朗読録音奉仕者・全国表彰」を受賞されました。さまざまなジャンルの書籍を録音図書にするのが得意で、利用者の方のニーズに素早く対応し、作品を仕上げてくださいます。
「朗読録音を始めたきっかけは、自分の時間に余裕ができたことと、本を読むことが好きだったからです。今後も朗読録音を利用している方たちからの様々なリクエストに応じていきたいと思います！」

伊藤　勝子さん

豊田さんは「朗読録音奉仕者・地区表彰」を受賞されました。文庫本の録音制作が得意で、広報紙の制作を長年担当されてきました。
「一宮市朗読グループききょうの設立当初から地道に活動してきました。個人宅へお伺いして訪問朗読を行うこともあります。こんなに長く活動を続けられたことに自分自身が驚いています(笑)」

豊田　保子さん

古田さんは「校正奉仕者・地区表彰」を受賞されました。普段は録音図書の制作を行っていますが、そのほかにも校正者として後輩の指導をされているリーダー的な存在でもあります。
「自分が困難にあった時に、大勢の人々に支えられ助けられました。今度は自身が誰かの役に立ってみたいと思い朗読録音を始めました。本の素晴らしさや面白さをより多くの方に伝えたいと思い、日々楽しく活動しています。」

古田　滋子さん

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣感謝状

「点訳グループ　コスモスの会」

令和 2 年度全国社会福祉大会にて「点訳グループ　コスモスの会」に厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。コスモスの会は昭和 58 年に設立され、長年にわたり点字図書の作成や児童・生徒への点字の指導に携わってきました。また、毎年七夕の時期に、尾西庁舎に設置される「福祉七夕笹」の短冊の点訳もしています。感謝状贈呈に対し、メンバーのみなさんは「歴代の先輩方のおかげで、ここまで続けることができました。今後も先輩方の技術や思いを引き継いでいきたいです」と話してくださいました。

受賞されたみなさん、おめでとうございます！

第72回赤い羽根協賛
児童生徒作品コンクール

入賞者紹介

「国民たすけあい共同募金運動」の健全な推進を図るため、市内の小・中学校に在学する児童・生徒を対象にポスター・書道の作品を募集しました。名古屋芸術大学で審査していただき、下記のとおり入賞者を選出しました。

（敬称略・順不同）

ポスターの部

応募212点

特賞

浅井南小　3年
大塚　朋

神山小　6年
飯岡　優希菜
愛知県共同募金会会長賞

小信中島小　6年
丹羽　胡々菜
愛知県社協会長賞

金賞

大和東小 1年	袴田　笑溜
木曽川東小 3年	黒岩　誠ノ介
木曽川東小 3年	平林　咲七
浅野小 5年	宮原　由安
小信中島小 5年	徳田　琴子
浅井中小 6年	森　千紗樹
南部中 1年	淺野　愛佳

・・・愛知県共同募金会会金賞

銀賞

向山小1年 早川 みくに/木曽川東小1年 遠藤 佑都/千秋東小2年 川口 愛彩音/木曽川東小3年 名和 蒼真/向山小4年 松原 朱音/三条小4年 市川 姫菜/三条小4年 森 一喜/黒田小4年 大橋 空斗/貴船小5年 柘植 一葉/木曽川東小5年 遠藤 みづき

銅賞

木曽川西小1年 秋栃 虎太朗/木曽川西小1年 江島 杏衣莉/向山小2年 小木曽 愛菜/浅野小2年 林 華怜/北方小2年 平光 芹那/富士小2年 髙岸 咲希/起小2年 野本 果蓮/北方小2年 矢篦原 礼愛/神山小3年 川浦 藍/北方小3年 矢篦原 愛華/宮西小4年 山下 果歩/葉栗北小5年 橘川 汐穏/小信中島小5年 宇佐見 紗奈/木曽川東小5年 児野 稜太/千秋小6年 栗林 杏奈/大徳小6年 今枝 真歩子/木曽川西小6年 葛谷 ひより/今伊勢中1年 柳田 莉奈/木曽川中3年 宮川 愛美/木曽川中3年 大竹 穂乃花

書道の部

応募1,776点

特賞

千秋南小　5年
岸　心晴
愛知県共同募金会会長賞

北部中　2年
森　葵彩

尾西第二中　3年
山本　結有里
愛知県知事賞

金賞

千秋南小 3年	尾関　絢音
今伊勢小 5年	柳田　隼弥
起小 6年	石垣　青葉
浅井中 1年	伊藤　萌優
葉栗中 2年	岩田　梨音
西成中 2年	白山　珠芳
葉栗中 3年	春日井　菜々

銀賞

瀬部小3年 原 巧/大徳小3年 瀧 夏葵/千秋南小4年 浅野 晃都/開明小5年 今村 希美/葉栗小6年 戸松 鷲二朗/今伊勢小6年 横井 花音/今伊勢西小6年 石原 実和/葉栗中2年 増永 龍之介/浅井中2年 長野 由芽/葉栗中3年 石井 明翔

銅賞

貴船小3年 松原 弘将/葉栗小3年 戸松 優作/大志小3年 安藤 美桜/瀬部小3年 箸方 心美/千秋小3年 森 煌莉/今伊勢小4年 鈴木 唯花/奥小4年 中村 紗子/貴船小5年 大木 彩愛/葉栗小5年 石渡 姫沙/丹陽小5年 鵜飼 櫻/丹陽小5年 加藤 陸登/丹陽小5年 丸山 慶秀/小信中島小5年 宇佐見 紗奈/大徳小5年 飯田 涼雅/貴船小6年 田中 かのん/葉栗中1年 大塚 倫子/葉栗中1年 戸松 徹平/浅井中1年 今井 一花/南部中2年 木下 紗希/尾西第三中2年 小関 芽生

令和２年度 赤い羽根共同募金中間報告

≪令和2年度 街頭募金協力店舗等≫

（敬称略・順不同）

アピタ木曽川店 / イオンモール木曽川店 / 一宮市商工観光課【尾張一宮駅前ビル】 / カネスエ開明店 / カネスエ新生店 / スーパー三心三条店 / 東海旅客鉄道㈱【尾張一宮駅】/ 名古屋鉄道㈱【名鉄一宮駅】/ ナフコ不二家木曽川店 / バロー一宮西店 / ピアゴ尾西店 / ピアゴプラス妙興寺店 / 平和堂木曽川店 / 平和堂尾西店 / ホームセンターコーナン一宮今伊勢店 / DCMカーマ尾西店 / MEGAドン・キホーテUNY一宮大和店 / MEGAドン・キホーテUNY伝法寺店

街頭募金の様子

今年度の街頭募金活動は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮して実施しました。

赤い羽根共同募金 with コロナ

今年度はコロナ禍において、こんな時だからこそ、“つながりをたやさない社会づくり”をテーマに運動を展開しています。対面での接触の機会を減らすことが求められている状況下において、下記のような募金方法もあります。年間を通じて募金することが可能ですので、ご協力よろしくお願いいたします。

ネット募金

専用ウェブサイトを通じて募金ができるシステムです。決済手段は、クレジットカード、コンビニ支払、ペイジーなどから選択できます。

募金の使い道もチェックできます！

キャッシュレス買取サービスによる募金

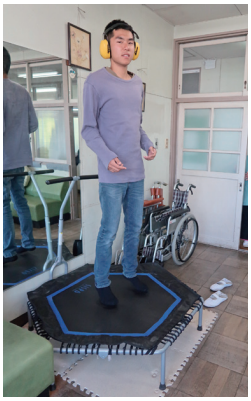
ブックオフコーポレーション㈱が実施する寄付プログラムです。このサービスは、BOOKOFF 店舗で売却時の代金（買取代金）を、スマホで各種マネーを選択して受け取ることができるもので、それ以外の選択肢として、赤い羽根共同募金へご寄付いただける仕組みです。

市内に実施店舗は３店舗あります。詳細は、下記ウェブサイトからご確認いただけます。

https://www.bookoff.co.jp/sell/spuketori.html

Close up! 赤い羽根共同募金のつかいみち

みなさまからお寄せいただいた募金は、本会の事業に活用させていただくほか、市内の福祉団体の運営や事業に役立てられています。令和元年度の一例をご紹介します。



社会福祉法人樫の木福祉会　樫の木作業所

施設内の休憩室にトランポリンとテレビを設置しました。

特にトランポリンは、体重増加傾向にある方を中心に、毎日の活動の休憩時間に楽しんでいただいているとのこと。多くの方が日課として自主的に取り組まれており、体を動かすことで心も体もリフレッシュし、次の活動に入ることができるようです。

コロナ禍により運動不足になりがちな昨今、作業所のみなさんの健康維持のために、募金が役立てられています。

※その他のつかいみちについては、赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください！

はねっと　検索

ボランティアセンターってどんなところ?

ボランティアセンターとは、地域でのボランティア活動が活発に進められるよう、情報提供や参加の促進といったさまざまな支援や事業を行うところです。
今回はそんなボランティアセンターの活動を一部紹介します！

＜ボランティア登録について＞

ボランティアセンターでは、ボランティア活動を始めたい人や、ボランティアを必要とする人からの相談に応じて、人と人を繋ぐお手伝いをしています。このお手伝いがスムーズに行えるよう「登録制度」を設けています。登録には、個人・団体と２種類の登録方法があり、「ボランティア活動をされている方」「これから活動を始めたい方」が登録することができます。

■登録方法
ボランティアセンターの窓口で所定の様式に必要事項を記入。
(団体登録については、会員名簿や規則等も提出していただきます。)
※登録は無料です。
※登録の期間は、登録日から当該年度末まで！

■登録すると以下の支援を受けることができます。
・ボランティア活動に関する情報をお届けします。
・印刷機等を使用できます。(利用料が必要です。)
・社協で備えている用具を借りられます。
・ボランティア室等の貸室が利用できます。
・ボランティア活動保険加入時に、1人あたり100円の補助が受けられます。

■現在登録している団体は本会ウェブサイトに掲載しています。
約300団体が登録しています！

←登録団体一覧の冊子を窓口で配布しています！

ボランティアセンター連絡先

◆本部　栄3丁目1番2号（尾張一宮駅前ビル４階）　☎85-7024
◆尾西支部　東五城字備前12番地（一宮市尾西庁舎４階）　☎63-4800
◆木曽川支部　木曽川町黒田字西沼51番地（一宮市高齢者生きがいセンター）　☎87-2000

ボランティア活動の前に・・・ ボランティア保険に加入しよう!

ボランティア活動保険

ボランティア活動中における「ケガ」や「損害賠償責任」を補償する保険です。
☆保険期間は加入日の翌日から当該年度末まで。

【補償内容（一部）】
■活動中または、活動のための往復途上でのケガや事故
■ボランティア自身の食中毒や特定感染症(新型コロナウイルスなど)
■活動中に他人にケガを負わせたり、他人の物を壊した場合
※地震・噴火・津波によるケガも補償対象となる天災プランもあります。

ボランティア行事用保険

ボランティア行事における主催者及び参加者のケガや損害賠償責任を補償します。
また、日帰行事に加え、宿泊行事を対象とする保険もあります。

ボランティア活動で用具を使用したい・・・ レクリエーション用具を借りよう!

ボランティア団体、福祉関係団体などが福祉活動やボランティア活動で使用するためのレクリエーション用具を貸し出しています。ボッチャ、カローリング、カルタなど、54種類の用具があります！ボランティア登録団体は3カ月前から予約が可能です。

令和3年4月から、貸出場所を大和事務所に変更します！！
その準備のため
令和3年3月20日(土)～31日(水)
は貸出が中止となります。

利用料	無料
貸出期間	最大１週間
申し込み	本部、尾西支部、木曽川支部のいずれかで、前日までに申込書を提出
貸出場所	尾西支部、木曽川支部 ※用具により窓口が異なります。

“わたしたちのボランティア活動を知ってほしい”と思ったら・・・ FMいちのみやに出演しよう!

ＦＭいちのみやの15分番組「いちのみやの輪」で、日頃のボランティア活動や新規会員募集などについてPRできます！毎週金曜日午前8時30分から8時45分までの15分間放送されています。出演を希望される方は、本部にご連絡ください。
(TEL:85-7024)

知っていますか？「中核市移行」

令和3年4月に一宮市は中核市に移行します。移行まで残り2カ月となった今回、中核市になると一体どんなことが変わるのか、福祉や保健の分野へスポットを当てて取材してみました。

Q. 中核市って何？
A. 人口20万人以上で、国の指定を受けた都市です。

Q. 中核市はたくさんあるの？
A. 全国に60市、愛知県では豊橋市・岡崎市・豊田市の3市です。
なお、尾張地域では一宮市が初となります。(令和2年11月現在)

一宮市が中核市になると何が変わるの？

福祉総合相談窓口の開設

福祉についてのさまざまな相談をワンストップで行える窓口を設置します。複数の生活課題を抱えている場合も、関係機関と連携を図り、解決方法を一緒に考えます。主な相談内容は、①生計困難・生活の不安に関すること②障害者に関すること③精神障害・難病患者に関すること(県からの移譲事務)④高齢者・介護に関することなどです。(既存の制度による申請は、引き続き各担当課で受け付けます。)

身体障害者手帳の審査・認定

手帳の申請受付から審査・認定、交付までを市が行えるようになります。市で受付し、県が審査していた今までと比べて、スピーディーに交付を受けられるようになります。

保健所の運営

保健所の運営主体が県から市に変わります。それに伴い、市内に3カ所ある保健センターと一体となって運営を進めていきます。これまでは
・保健所：食中毒対策、感染症対策など
・保健センター：健康相談、保健指導、健康検査など
とそれぞれ業務が分かれていましたが、一体化することによって、市民の健康を総合的に支えていけるようになります。

福祉施設の指定・指導

障害福祉・介護サービスの事業所・施設の指定と、事業者への指導・監査業務を市が行うようになります。市民のニーズや、地域の実情に合わせた、きめ細やかなサービスの提供を目指していきます。

【取材を終えて】

中核市への移行により、今まで以上に市民のニーズに寄り添った形でサービス提供が進められることが分かりました。今後さらに一宮市が良いまちになっていくことが楽しみですね。

ボランティア紹介リレー

第22回

今回は、『千秋民謡クラブ』の長谷川幸雄さんからお話を伺いました。

どんな活動をしていますか？

毎年4月に青木川桜まつり(千秋町)に出演させてもらっています。青木川は千秋町の桜の名所で、美しい桜が舞う中で民謡を披露するのは格別です。昨年は新型コロナウイルスの影響で桜まつりは中止になってしまったのでとても残念でしたね。今年は地域のみなさんに、桜と一緒に民謡を披露できればなと思います。その他には、千秋町の「ひとり暮らし高齢者の集い」に出演したり、月に1回は高齢者施設の訪問もしています。

活動を始めた経緯は？

趣味としてすでに民謡を楽しんでいた29歳の頃に、当時の千秋町出張所長さんから「民謡の教室をやってもらえませんか？」と依頼をいただいたのが団体を立ち上げるきっかけですね。出張所の掲示板や町内の回覧板で募集をかけたところ、50～60人の地域住民が集まりました。

活動を継続することにご苦労はないですか？

団体を設立したのは昭和55年の4月なので、活動期間はまるっと40年になります。月日がたつのは、あっという間ですね(笑)。もともと好きで始めたので特段苦に感じることはないですが、会員の病気や、施設入所などで徐々に減少し、一時期会員が3人しかいなくなった時は寂しかったですね…。その後は広報や知人の紹介で会員を少しずつ増やしていき、現在は8人で活動しています。

市民の皆様へひとこと

民謡はとても楽しいものだということを大勢のみなさんに知ってもらいたいです。流行りの歌ではないですが、廃れることもなく、50年、100年と長く愛される歌となります。そんな民謡を大きな声で気持ちよく歌うと、とても元気になりますよ！活動に興味のある方は、社会福祉協議会(℡:85-7024)へご連絡ください。

取材を終えて

長谷川さんが演奏する津軽三味線の音色に合わせて、会員の方々のよく通る大きな歌声がとても印象的でした。中には90歳になる方もみえ、活き活きと声を発する活動が健康につながっているように思いました。会員さんは継続年数10年以上の方をはじめ、入会して間もない方もいらっしゃいます。新しい会員さんを随時募集中とのこと。民謡やボランティア初心者の方でも参加しやすいグループだと感じました。また、第68回愛知県社会福祉大会で表彰を受けられました。おめでとうございます!

図書館で借りることができます。

おすすめふくしの本　いじめだよ!

フランチェスコ・ピトー/作　ベルナデット・ジェルベ/絵　栗栖　カイ/訳
ブロンズ新社

いじめって何だろう。どこからどこまでをいじめっていうんだろう…？

いじめは人間同士だけで起こるものではなく、あなたが気づかないだけで、人間以外の小さい動物に対してもいじめをしてしまっていることがあるんです。

自分が正直に言ったことが相手を傷つけることがある。自分が楽しくてやったことが相手を嫌な気分にさせることがある。相手の気持ちになって行動することが大切だと教えてくれる作品です。

講座受講者募集!

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催中止または、内容を変更する場合がございます。その際は、ウェブサイトなどでご案内させていただきます。

また、実施する場合は、会場の換気などに配慮いたします。

傾聴ボランティア養成講座(全3回)

施設や在宅での傾聴ボランティア活動に参加してみませんか?

日　　時　2月18日、25日、3月4日　各木曜日　午後1時30分～3時30分
会　　場　社会福祉協議会　大和事務所　会議室(大和町宮地花池字中道9-16)
対　　象　市内在住・在勤で傾聴ボランティアに関心のある方
内　　容　傾聴の技術についての講義など
定　　員　15名(先着順)
受 講 料　無料
申し込み　2月4日(木)午前9時から本部へ電話(℡:85-7024)

視覚障害者ガイドヘルプ講習会

視覚障害者の日常生活支援の一つ、ガイドヘルプについて学んでみませんか?

日　　時　3月3日(水)　午前10時～午後2時30分
会　　場　社会福祉協議会　本部(栄三丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル4階)
対　　象　市内在住・在勤で、視覚障害者福祉に関心がありボランティア活動を希望する方
内　　容　ガイドヘルプについての講義、実技、屋外体験学習など
定　　員　10名(先着順)
受 講 料　無料(昼食は各自持参)
申し込み　2月4日(木)午前9時から本部へ電話(℡:85-7024)

障害者スポーツ(ボッチャ)体験交流会　参加者募集

令和元年度に新型コロナウイルスの影響で中止となった本イベントを、感染防止策を十分とったうえで、開催することが決定しました。

令和２年度ボッチャ甲子園出場が決まっている「サザンクロス」の選手も来てくださいます！全国レベルのボッチャを見て体験できる貴重な機会です。

障害の有無に関わらずスポーツを楽しみながら交流し、一宮市内で気軽に障害者スポーツが楽しめる環境をつくっていきましょう！

日　　時　3月21日(日)10時～12時(受付9時30分から)
会　　場　いちのみや中央プラザ体育館(野口1丁目6番22号)
対　　象　市内在住、在勤、在学の方
内　　容　ボッチャ体験を通じて交流を深めます。
定　　員　30名(申込多数の場合、事務局による抽選となります)
申し込み　2月19日(金)までに本部へ電話または参加申込書を提出
℡:85-7024 / Fax:85-7025 / メール:chiiki@138sk.org

本会の貸出用具に「ボッチャ用具一式」があります。この体験会に参加された方はもちろん、参加できない方も、グループで貸出を利用してボッチャを楽しみましょう！

※用具の貸出はボランティア・福祉関係団体などが対象です。個人への貸出は行っておりません。
詳細は本部へお問合せください。

障害者相談支援センターだより

本紙６月号で紹介した一宮市障害者自立支援協議会でも新型コロナウイルスの影響で部会やイベントなどを中止していましたが、6月頃から感染症対策を行いながら、できることを少しずつ進めています。

就労支援部会

平成25年から開催している福祉マルシェ(※ｉ・愛・逢マーケット)は11月で8年目を迎えました！感染症対策をしながら7月から再開したところ、たくさんの方に来場していただいています。特にマスクや苗の売り上げが好調です。今年度から新たに加わった事業所もあるので、ぜひ足を運んでみてください。

※福祉就労の工賃の向上や障害福祉を市民の方にPRすることを目的として、一宮市内にある障害福祉サービス事業所が共同で出店しています。

開催日時：毎月第３水・木曜日
10時～19時
場　　所：名鉄百貨店一宮店
正面玄関前
★エコバッグをご持参ください。

子ども部会

放課後等デイサービス事業所連絡会では「各事業所における感染症対策」をテーマに愛知県立大学看護学部准教授の柴邦代氏に会場＋Zoomを活用したオンライン形式で講演していただきました。

生活支援部会

あいち発達障害者支援センターの樋口麻美氏をお招きして研修を行いました。強度行動障害のある方を支援する市内事業所職員が互いに学びあい交流する貴重な機会を持つことができました。

福祉教育 with コロナ

コロナに負けず頑張っています！

本会では毎年、市内の小中学校を対象に福祉学習のお手伝いとして「福祉実践教室」を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止となりました。

そんな状況の中、障害のある方を講師に招いて福祉教育の場を設けたいとの依頼を小学校からいただきました。学校やボランティア講師の方々と打合せを重ね、感染防止策を十分とり、福祉について学ぶ機会を設けることができましたので、紹介します。

手話を教えている場面です。講師は聴覚障害者で、マスクをしていると口の形や表情が読み取れず、コミュニケーションが取りにくいため、マウスシールドを着用し、口元や表情が分かるように工夫をしています。また、講師は教卓から動かないこととし、児童と接触しないように注意しています。

点字を教えている場面です。点字器などは事前・事後に消毒をしています。通常であれば、打った点字は講師の方に読んでいただくのですが、感染予防のため中止としています。一方で講師と児童の交流時間や、福祉について考える時間を多く取っています。

祝！長寿 いつまでもお元気で

本会では、毎年数え100歳となる方に長寿祝金をお贈りしています。

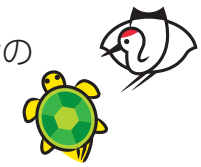
今年度は、一宮市が市制を施行した年、大正10年生まれの方が対象で、ちょうど**100名**いらっしゃいました！その中の一人で大宮に在住の稲垣とし子さんにお話を伺いました。

長寿の秘訣「趣味・習い事は独りで始め、継続する」

とし子さんは大正10年に7人妹弟の長女として出生。現在は次男夫婦と3人で暮らし、子どもは男3人、孫5人、ひ孫4人に恵まれました。10代で郵便局に勤め、電話交換手や預貯金保険等の窓口業務をされました。昭和初期の電話はダイヤルやボタンがなく、電話をかけるには、局の交換手を呼び出して電話番号を伝え、交換手が手動で交換機の線をつないで通話が成立する仕組みでした。「加入者名で申し込む人が多く、交換手は全加入者の番号を暗記するのに苦労した」と懐かしそうに語られました。当時の電話交換台は博物館明治村で見学できるそうです。

日常生活では、お嫁さんの料理を好き嫌いなく食べ、身の周りのことは自分で行い、日課の運動も欠かさないとか。最後に元気の秘訣を伺うと、「好きなことを始めたら続けること」。小唄(名取)・謡曲、人形作り、絽刺(ろざし)・ろうけつ染め、さらに海外旅行と年末恒例の「第九」合唱にも挑戦、シルバーカレッジなどで楽しく学んできたそうです。認知症予防のために始めた書道歴は37年。「千文字」屏風二双の大作を揮毫(きごう)されたそうです。習い事を通して多くの友だちと絆が深まり「家外の家族みたい」とニコニコ顔で話されました。

「元気で長生きできるのは、ひとえに家族のおかげ」と何度も感謝の気持ちを口にされていた、とし子さんのしっかりした語り口と笑顔が印象に残りました。



車いすの利用について

身体に障害のある方、けがをされた方など、一時的に利用が必要な方へお貸ししています！

利 用 料	無料
貸出期間	1カ月
貸出場所	本部・尾西支部・ 木曽川支部・大和事務所

子ども用車いすもあります◎善意の寄付により頂きました。

毎年、豊田合成の「車イスドクターズ」のみなさんが無償で点検・修理をしています。

新講座

「誰でもできる！支え合いボランティア講座」

令和２年 11 月 10、17 日の２日間で「誰でもできる！支え合いボランティア講座」を開催しました。新型コロナウイルスの感染防止対策として、定員 10 名で実施しました。

なぜ地域で支え合い活動が必要とされているのかという講義から始まり、ふれあい・いきいきサロンの運営者や、ちょこボラサービスの協力会員の方からお話を伺いました。参加者の方は、真剣に話を聞きながら、自分の興味のある活動の中で自分ができることを考えていたようです。

＜講座の内容＞
●講義
「支え合い活動とは」
「高齢者の介護予防・健康づくりについて」
「ふれあい・いきいきサロンとは」
「ちょこボラサービスについて」
●グループワーク
「助け合い体験ゲーム」(表紙の写真)

生協のキッチンスタジオを利用してみませんか？

一宮生活協同組合(以下、「生協」)が、創立 70 周年を記念して、事務所を改装しキッチンスタジオをつくりました！社会貢献活動の一環として、令和２年９月から生協の組合員だけでなく、組合員以外の地域の方にも貸出を行っています。

キッチンスタジオの隣には会議室もあり、会議室のみの利用も可能です。地域で何か活動したいけど、集まる場所がないという方は、一度問い合わせをしてみてはいかがでしょうか。

キッチンスタジオ

会議室

キッズスペース

＜一宮生活協同組合＞
住　　所：末広2丁目19-1
貸出日時：月～金 9:00～16:30
利 用 料：有料
※貸出スペースによって料金が異なりますので、問い合わせ時にご確認ください。
電話番号：45-3261
(月～金 8:30～17:30)

地域で社会貢献したいと思っている団体からの相談を受け付けています！

「地域で社会貢献活動をしたいけど、何をやったらいいかわからない…」という企業や社会福祉法人の方々からお話を伺い、できることを一緒に考えます。お気軽にご相談ください。

問合せ先：本部　地域福祉グループ (TEL85-7024)

生活福祉資金貸付制度のご案内

支援を受けることにより自立した生活ができると認められる低所得世帯、障害者、高齢者の属する世帯を対象に、資金貸付の相談を行っています。本貸付制度は資金種類ごとに要件・条件があります。詳細については、本部 (TEL:85-7024) へお問い合わせください。

また、現在、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により生活資金でお悩みの世帯に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施しております。特例貸付の詳細は、本会ウェブサイトに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

※貸付には審査があります。希望するすべての方にお貸しできるものではありません。

138sk 検索

車いす使用の職員発信

車いすといっしょに

第 12 回「車いすと寒さ対策」

移動の妨げとならないよう、防寒具の選び方を工夫しています。以前、雨天時に頭から被れる合羽を紹介しましたが、冬場にもフードがついたポンチョが活躍します。コート類より生地が薄いぶん、着たままでも車いすがこぎやすく便利です。車いすの車輪は冬場に素手で回すとかなり冷たいので、外出するときは手袋をします。以前は滑り止めがついた、長い５本指のものを使っていましたが、こぐ時の滑りやごわつきを和らげるために、滑り止め無しの短いものに替えました。このほか身に着けるものでは、その場で着脱しやすいネックウォーマーも重宝しています。どれも冬場に欠かせない必需品です。(小鹿)

障害者スポーツの紹介 「ユニバーサルリレー」

ユニバーサルリレーは、東京パラリンピックから正式種目に採用される競技です。チーム構成は男女混合２名ずつと決まっており、４人が 100m ずつ走ります。最大の特徴は走者の引き継ぎで、バトンを渡す代わりに、体に触れて次の選手に繋ぎます。選手ごとの規定も大切な要素です。視覚障害がある選手には伴走者がつくため、選手がレーン上に３人いる状態で次に渡ります。最終走者である競技用車いすを使う選手にタッチするための区間は、他より 10m長くなっています。リレーは元来連携がカギになりますが、より正確なつなぎが求められる競技です。

編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア / 日置雅夫・岩下茂子

コロナ禍で人の交流も経済も落ち込む いままでの国際協力の成果とこれから

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。経済活動は大幅に停滞し、日常生活にも支障をきたしています。コロナ禍の前まであったいろいろな国際協力はほとんど止まってしまいました。JICAの海外青年協力隊も全員日本に帰国しています。

スリランカでNPO活動をしているタランガ　フレンドシップ　グループ(TFG)の活動を思い出します。

当時、TFGが行っていた植林事業は、売るとお金になるマホガニーなどの木の苗や、マンゴーのように実のなる木の苗を農家の庭に植えることです。ひと家族あたり8本くらいを村のすべての家に配りました。また、職業訓練も行い、日本から中古のミシンをスリランカに送り、足踏みミシン講座を村の女性が受講する仕組みを作っていました。

私は2003年8月にTFGのスタディーツアーに参加し、初めてスリランカを訪問しました。この時、TFG10周年記念事業が実施され、TFGが北西州で実施している植林事業や職業訓練などの関係者や州政府高官とともに運動会やバザーが行われました。

バザーでは研修生が自分で作った服や小物などを披露し、商品の説明をしてくれました。バザーでは他にスリランカのお菓子なども売っていました。町の広場で行われた運動会は、運営を日本の女学生が中心となり、私もお手伝いしました。その時の私はとても心地よい気持ちでした。

その後、私はスリランカの低開発村の若者のための職業訓練支援を続けることとなりました。コロナ禍が収束し、落ち着いたら、再度国際協力を行いたいと思っています。(日置)

スリランカの村の子どもたち
来訪者を民族舞踊で歓迎(2005年5月に撮影)

～～～尾西おやこ劇場!!～～～

尾西おやこ劇場は、4歳以上のみんな(0～3歳は親子)が活動しています。

昨今、人と人の繋がりが希薄と言われている中、仲間と一緒に舞台を見たり、音楽を聴いたり、遊んだり、話し合ったりすることで、感受性や豊かな人間関係が育まれ、それが生きる力となります。そんな子どもたちの成長を長い目で一人一人見守り、暖かい眼差しを向けながらも、親御さん達も一緒に成長できる場所でありたいと願って活動しているグループです。

今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、予定していた行事が中止や延期を余儀なくされましたが、7月からはしっかりとした感染予防対策をして活動を再開し、少しずつみんなが心を解放して笑いが戻ったように思います。

今後は、状況がどのようになるか分かりませんが、

『ニコリのたね』　日時:2月13日(土)午後6時開演　場所:尾西生涯学習センター　を予定しています。興味を持たれた方は下記までご連絡ください。お待ちしております。

家族だけではなかなか体験できないことを仲間と共に作りあえる。それが尾西おやこ劇場です。(岩下)

【尾西おやこ劇場へのお問い合わせ】
尾西おやこ劇場事務所　一宮市小信中島字下郷西12
TEL／FAX　61-5052　月曜～金曜　10:00～15:00

一宮市の福祉を支える社協会員に

社会福祉協議会会員募集のお願い

社協の活動財源は、市からの補助金・受託金のほか、社協会費や赤い羽根共同募金、善意のご寄付などみなさまからのご協力によって支えられています。

いただいた会費は、各連区に設置している地区社会福祉協議会(支会)に還元され、各連区の実情に合わせた地域福祉推進のために活用されます。

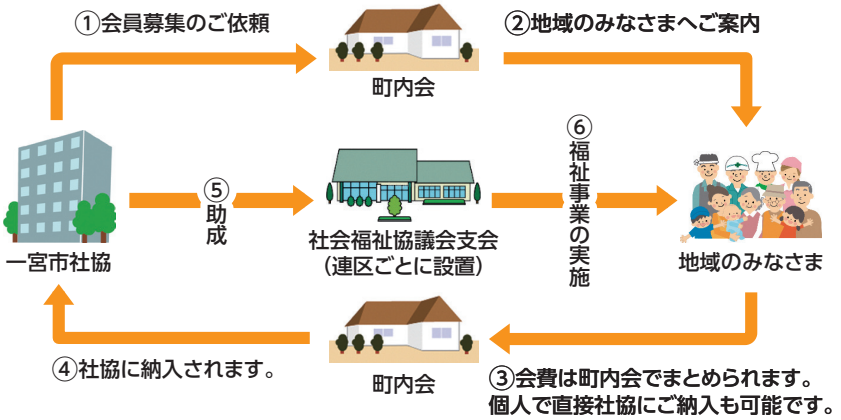
「誰もが安心して暮らせる、人にやさしい福祉のまちづくり」を目指して、今後もさまざまな事業に取り組み、みなさまとともに一宮市の地域福祉を推進していきますので、温かいご協力をお願いいたします。

会員の種類と年会費

一般会員　500円
(個人又は世帯)
法人会員　1,000円
団体会員　500円×世帯数口
(町内会・自治会等)

地元の町会長さん、役員さんが訪問されましたら、ご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

会員募集の流れ



?応募!クイズ

図書カード ¥1,000

障害者スポーツのユニバーサルリレーで、チームのメンバーは1人何メートルずつ走るでしょう? ヒント 14ページ

ご応募いただいた方の中から抽選で５名の方に図書カード(1,000円分)をプレゼントします！
①クイズの答え②本紙に対するご意見・ご感想③住所④氏名⑤年齢　を明記の上、ハガキにてご応募ください。
【令和３年３月31日(水)必着】
〒491-0858 一宮市栄３丁目１番２号　尾張一宮駅前ビル４階(一宮市社会福祉協議会内)「いちのみやの社会福祉」編集係あて
10月号クイズ当選者発表(応募総数 105 通)山中様(萩原町)大岩様(丹陽町)内田様(小信中島)安田様(大志)櫻木様(萩原町)おめでとうございます。
クイズの答え：赤色

災害義援金へのご協力ありがとうございました。

お寄せいただきました義援金は、中央共同募金会や、被災都道府県共同募金会を通して、全額被災されたみなさまへ届けられます。なお下記の義援金については、引き続き募集しておりますのでご協力をお願いします。

- 令和2年7月豪雨災害による義援金
- 令和元年台風19号災害義援金
- 愛媛県豪雨災害による義援金
- 平成30年7月岡山県災害義援金
- 平成30年7月広島県豪雨災害による義援金
- 平成28年熊本地震災害義援金

市内の福祉・保健・医療関係者の皆さまへ
広告募集中

【掲載枠】1枠　縦55㎜×横80㎜ 【掲載枠】1回1枠　20,000円	最大4枠 複数枠掲載可

※広告掲載に関するお問い合わせは、本部(TEL:85-7024)まで

本紙は目の不自由な方のために音声版・点字版広報も発行しております。ご希望の方は本部まで

ウェブサイト　http://www.138sk.org

編集・発行
社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会
〒491-0858 一宮市栄3丁目1番2号(尾張一宮駅前ビル4階)
TEL(0586)85-7024